

【資料 1】

特定非営利活動法人 金融知力普及協会

2015 年度事業報告書

2016 年 5 月



2015 年度事業報告

2015 年 4 月 1 日から 2016 年 3 月 31 日まで

2015 年度金融知力普及協会活動の通信簿

	教育活動	インストラクター	イベント	コンテンツ	財務運営
内容	通信教育 講師派遣 検定試験等	インストラクター制度の充実	エコノミクス甲子園等	従来コンテンツの拡充 等	事務局運営についての 財務状況
数値 実績	通信講座:125件 セミナー参加:647名 検定試験:44件	自前養成セミナー:4名 インストラクター総数:634名 フォローアップ:37名	エコ甲:2,242名 子ども向け:90名	エコノミカ:525個 ブースター:885個 エレメント:164個 SMAM関連:5,000個	黒字:242万円
評価	△	×	◎	◎	◎
15年度 概要	セミナー参加者が50%増 加している。	低調。養成セミナーなど 問い合わせもあった が、実施数までには満 たず。	イベントはいずれも非常 に盛り上がった。	SMAM社参加下により 大躍進。	前回あった個人寄付分 は、今回奨学金勘定に 入ったため、実質は昨 年以上の黒字となる。
16年度 戦略	通信教育・検定に関し ては現状維持	地銀への働きかけを強 める。	奨学金制度が軸。全都 道府県での開催を目指 す。	引き続き、取り組みを強 化	安定的に黒字を確保で きる事業をさらに追及。

1. 事業の経過および成果（概要）

全ての人々にフィナンシャル・リテラシーを。この理念を実現することが我々の目的です。認定 NPO として様々なアプローチで金融経済教育に取り組み、金融経済教育団体としての知名度向上、そして事業収益の確保を図って参りました。

高校生向けの金融経済教育イベントの「エコノミクス甲子園」など、金融経済教育イベントの規模を拡大し、一定の実績を上げることができております。また、将来の収益につながる新たな事業にも取り組んで参りました。今後はこれまで開催してきたイベントをより活発に展開し、新たな収益事業を育てることが目標です。

2015 年度の事業の経過を総括いたしますと、エコノミクス甲子園等のイベントで成功を収め、各所から好評を得ることができました。新メインスポンサーのスポンサー料が上昇し、他の新規スポンサーの出現や従来のスポンサーの金額積み増しもあり、242 万円の黒字を達成することができました。

しかしながら、通信教育講座、講師派遣等の販売は低調で、未だエコノミクス甲子園に次ぐ二本目の収益柱を立てられるまでに至っておりません。

14年度は個人寄付を丸ごと残すことができ、700万円の黒字となりました。15年度も同様の寄付をいただきましたが、その分は奨学金の原資として別勘定に含まれておりません。実質的には昨年以上の黒字を達成できた状況です。

主な要因はジュニア NISA 始動前の特需があったと思われます。そのうち、エコノミカ関連事業に関しましては、16年度も継続の見込みです。

2015年度の主要事業の概要、主なトピックは以下の通りです。

1-1. 金融知力普及啓蒙事業

① 子ども経済塾が増加

従前より夏休みの3日間で実施していた川口市子ども経済塾ですが本年も実施いたしました。今回で11年目となります。川口市内すべての小学校から6年生の生徒が参加し、ライフプランの考え方やお金の管理のしかたなどの金融知力学習を行い、銀行の見学などを実施しました。

また、本年度は湘南台商店街での実施と荒川区での同様の内容での実施があり、反応も上々でした。引き続き増加を目指します。

② 第10回エコノミクス甲子園を開催

虎ノ門イイノホールにて第10回エコノミクス甲子園の全国大会を開催いたしました。全国42会場で地方大会を実施し、インターネット大会代表の1チームと、敗者復活の1チームを加えた44の代表チームで競技を行いました。新潟大会代表の新潟高校チームが優勝し、優勝商品として3月にNY研修旅行を実施いたしました。第10回大会は全国で1,121チーム、2,242名の高校生が参加をしております。

また、2015年度は10回記念大会として奨学金を実施しました。こちらは今後も継続される予定となっております。

③ 経済カードゲームエコノミカの販売

カードゲームで遊びながら経済用語や資産運用について学べる「経済TCG エコノミカ プースターパック」を継続して販売いたしました。15年度は三井住友アセットマネジメント社が、エコノミカをマスコットとして使用いただき大きな大会を開き、エコノミクス甲子園全参加者に送付するなど、大きな成果をあげました。

④ 金融知力インストラクター対象のフォローアップセミナー実施

インストラクター向けの施策「フォローアップセミナー」を2回実施いたしました。セミナーの目的は、「インストラクターのスキル向上」、「仮認定インストラクターの正式認定」、「資格更新機会の提供」となっております。座学での受講に加え、DVD受講もできるようにし、全国から37名のインストラクターが受講いたしました。

1-2. 金融知力教育事業

① 通信教育

2015年度の通信講座受講者数は以下のとおりです。

新版通信講座	新規受講者数	昨年度	累計受講者数
ベーシック コース	116名	137名	1,365名
アドバンスド コース	9名	0名	697名
合計	125名	137名	2,062名

販売数は依然低落傾向です。基本的にはコストをかけず現状維持を目標とします。

② セミナー・研修

2015年度に当協会が主催、受託、講師派遣した主な研修と受講者数は以下の通りです。

研修・セミナー	参加人数
【高島屋】 高島屋商い塾（4会場）	91人
【協会】 インストラクター関連セミナー（3回）	31人
【日経】 女性向けセミナー（3会場）	215人
【NTTグループ】 ライフデザインセミナー（8会場）	292人
【銀行協会】 講師養成	19人

1-3. その他特記事項

① 寄附金

法人からはエコノミクス甲子園関連、及びエコノミカ iPad 関連に総額 1,658 万円、6 万 2 千ドルのご寄附を頂きました。

また、個人から 800 万円のご寄附をいただき、そのうち 600 万円は奨学会計に繰り入れております。

昨年と比べ寄附の総額は約 353 万円増となりました。

II. 財務の状況

2015 年度の収支の状況は添付のとおりとなっています。協会では例年公認会計士に全件監査を委託しており、引き続き財務会計の公正性、透明性を高めてまいります。

- ・ 経常収益は合計で、62,041 千円から 78,297 千円への増加でした。
- ・ 事業費は 62,182 千円で、そのうち 10,299 千円が人件費となっております。
- ・ 管理費は 13,289 千円となっております。そのうち 7,555 千円が人件費です。
- ・ 事業費と管理費を合計した経常費用は、昨年の 53,718 千円から 75,471 千円へ増加いたしました。このうちの 6,000 千円は奨学金会計への振替額となっております。
- ・ 2015 年度の利益は 2,423 千円となっております。

以上